

人生ハンド仏句

第76号

H. 20. 7. 1
(毎月1日発行)

編集・発行

玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX (0765)22-2268

メールアドレス

kokorochanthk@ybb.ne.jp

ホームページアドレス

[http://www.geocities.jp/](http://www.geocities.jp/siniyoujitoiyama108/)

[siniyoujitoiyama108/](http://www.geocities.jp/siniyoujitoiyama108/)

日蓮聖人の教え

住職 谷川寛俊

日蓮大聖人様は「まずお題目を信じて唱えご本尊に祈りなさい。そうすればいかなる願いも成就するのだ。学問的理解がなくてもお題目を信じて真剣に祈るならば、不思議な奇跡が必ず起こるのだ」と自らの御生涯を通してお示しにされました。

知識や理屈で割り切れないところに人の悩みがあるからです。病気は病理に従って起こるものであり、止むを得ないと知っていても、それが為に生命を失うことは、なかなか受け入れることが出来ません。知識は無いよりある方が良いのですが、現に空腹に耐えかねている人に、食物を見せてその栄養価値を語つ

ても救いにはなりません。まず食べ物を与えることが必要です。それと同じことで現実の救いには、ともかく現に苦しんでいることをまず取り除いてから、時間をかけてゆっくりと法華経、そして大聖人様の教えを理解させることです。お題目の神秘奇跡を頂けるのには正しい理由があります。それはお題目がご本仏であり、全宇宙生命の源、すなわち魂の住処であるからなのです。

そして私たちは、その世界からご本仏様の分身としてこの世に生まれて来たのです。残念なことにそのことを私たちは忘れ去ってしまった。覚えていないのです。だからこそお題目を一心に信じて唱える時、ご本仏さまと感応同交(交信)してご守護を頂けるのです。

今、世の中には神仏や魂の存在など目に見えない物を否定する人が増えています。この人たちは実際

に目に見えることしか信じません。そして現実の生活に振り回されて苦しんでいます。早くそのことに気付いて、信仰を中心とした日々の生活に精進してもらいたいものです。



信仰が導く人の縁 こころの輪